

みんなで語る会報告書

- 開催日時：平成27年12月1日（火）（19時00分～20時30分）
- 開催場所：開聞総合体育館
- 参加者数：【市民】37人、【市職員】市長ほか13人、【総計】51人

○ 会次第

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 意見交換
- 4 地域代表あいさつ
- 5 閉会

○ 意見交換の内容

【市民】

2020年に開催される鹿児島国体で、開聞は成年女子ソフトボール会場に決定したと聞いた。しかし、スポーツ少年団の大会等が総合体育館や総合グラウンドで開催される度に駐車場が不足している。オリンピックの復活競技でもありお客さんも増えると思うが、今の駐車場の状態で受入れが可能なのか。また、総合グラウンドの構造変更等の計画は、どのようになっているのか。

<市長>

私どもも、心配している。女子ソフトボールは大変な人気種目で、オリンピックで優勝等をするに相当数の方々が来ると思う。また、国体開催前年度にも、ここで競技団体の大会が開かれることが予想される。そうすると、運動場の改修を含めて、全国から来られた方々に迷惑をかけるわけにはいかない。そして、開聞のグラウンドに来て良かったというような大会にしなければならない。様々な関係者の意見を集約して、計画を出すようにしている。

体育館を含めて、陸上競技場の駐車場が足りないときには市場等に駐車するようにしているが、その影響で牛に何らかの病気等が発生したら取り返しがつかない。やはり、駐車場の整備は必要だと思っている。可能であれば、周辺の土地に駐車場を整備したい。

<開聞支所長>

駐車場の不足については、これまでも体育館や運動場で行われるイベント等でトラブルがあったと聞いている。現在、夏祭りやオールドカーフェスタ等でも、せり市場やグラウンドを借りている状況である。周りに駐車場のスペースがあれば整備したいが、山林が残っており、道路の離合等の問題もある。色々な意見を聞きながら検討していきたい。

<前 市民スポーツ課長>

駐車場の問題については、開聞中学校等の近くの駐車場の利用も念頭におきながら、会場周辺の土地を駐車場として整備することができれば、何とか解決できると思っている。

<市長>

現在、担当者レベルで整備する方向で下準備をしている。計画ができ次第、議会等に示して協議をしていただき賛同を得たい。

【市民】

先日、開聞岳一周道路の用地買収を終えたと聞いたが、どのような道路ができるのか。また、その道路を地域の活性化・指宿の発展のためにどのようにつなげていくのか。

<建設部長>

開聞岳一周線については、平成 24 年度から県と市と地権者の三者で協議を進めている。平成 25 年度に県が策定した「開聞岳周遊道路整備計画」に基づいて協議しており、今年度、ある一定の方向性が示された。用地買収は終わっておらず、今度の議会で用地買収費用を計上しており、最終的な合意を得るように協議中である。それができ次第、用地買収を行い工事に入る段取りとなっている。現時点では、岩崎産業の私道を利用するルートを検討している。今年度中には、具体的な整備計画を示すことができるのではないだろうか。

<市長>

いぶすきゴルフクラブにおいて、日本プロゴルフ選手権が 2019 年に開催される。岩崎産業としても、2019 年までには市と一緒に一週道路を完成させ、ゴルフ場、そして何よりも開聞岳を PR するいい機会だと社長自らが歩いて回っており、様々な案を持っている。市も土地購入費を計上し、いよいよ具体的に進めようという状況である。

【市民】

旧開聞町時代は、「花とかおりのまち」ということで、商工会のまちづくり事業の中で川尻方面からランタナ通りの青写真ができて、フラワーパークから大迫インターまでの道路沿いをランタナ通りにすればと、ランタナの道という看板も立っていた。ゴルフ場周辺には、まだランタナが残っているので、何とかつなげることができないのか。

また、ふれあい公園とえぷろんはうすに、どこにでも誇れるような、また地区民にも誇れるような遊歩道ができないか。人々が歩きに来て旅館・ホテルに泊まれば、健康づくりを兼ねた産業振興にもなると思う。

<市長>

ランタナ道路やフラワーロードは、非常に大切だと思う。やはり、健幸のまちとしては、歩けるような歩道の計画等を行わなければならない。池田湖には所々、歩けるような歩道ができていて、例えば唐船峡まで続き花も咲いているといった歩道づくりをやっていかなければならないと思っている。菜の花マーチや韓国のオルレのコースにも取り入れてもらいたい。ぜひ、今後もご意見をいただきたい。

【市民】

先日、区長会を開催し、開聞地域の活性化について話し合いをもった。その中で出された案を述べたい。開聞庁舎も耐震化工事を行うと聞いているが、現在、利用されているのは 1 階のフロアのみでもったいない。そこで、県の合同庁舎に間借りしている市の農政部門を、開聞庁舎に移すことができないのか。農業が盛んな開聞、山川、池田、小牧等は、開聞庁舎にある方が便利になると思われる。合同庁舎も無料で借りることはできないはずであるので、経費の削減にもつながるのではないかと。開聞庁舎が賑やかになれば、自然と地域の人の流れも賑やかになると思う。

<市長>

先日行われた市役所内での庁議でも、耐震工事を含めてこの問題が話題になった。開聞庁舎に農政部門を移したときに、どのような問題点や利点があるのか考えてみてはどうかと話をした。合併後 10 年を契機に、これまでの成果・問題点を整理する必要がある。10 年を一区切りとして、新たな一歩を踏み出す年でもあると思う。

人口減少はなかなか止めることはできないが、それによって開聞地域が衰退することは、地方創生の趣旨からも許されることではない。庁舎利用については、開聞図書館や高齢者のふれあいの場としての利用といった活用の方策を含めて総合的に考えてみたいと思う。今後とも、この件について引き続きご意見をいただきたい。

【市民】

11 月 22 日に加世田で開催された「あなたのそばで県議会」でも、私が提言をしてきた。私は開聞町議会議長をしていたことがあり、地域の振興と発展のために、阿多カルデラ鬼門平の稜線上に、指宿スカイラインの当初計画であった宝台までの 5,000m を延長してもらいたいと、30 年前から合

併前まで、揖宿町村議長会の中でも提唱してきた。この稜線上からの展望は素晴らしく、特に宝台あたりからの一望は、九州一の池田湖が二つの大きな目玉となって見える。また、南には名山百選の秀麗薩摩富士が目前に迫っている。東の方には、朝日が昇る太平洋の佐多岬を望める。夕べには、東シナ海の夕焼けに沈む太陽を望むことができる。眼下には、13℃の冷水がとうとう湧き出る名水百選の唐船峡、薩摩一の宮枚聞神社、その他、ニニギノミコトにゆかりのある玉乃井。私たちの30年来の願望であるプロジェクトが実現すれば、薩摩半島創生と明るい展望とが開かれると確信している。完成のあかつきにはスカイラインと併せて、阿多カルデラミニ万里の長城と名付けて世界に発信していけば、千客万来となるのではないかと。

県議会からの答弁は、広域農道との接点である。景観はすばらしい所である。昔のことも調べたがわからなかったという、私にとっては納得のできるものではなかった。県議会の会議の中で配布された資料に、指宿スカイラインの改修に190億円を事業計画としてまとめたいと県が答弁したとなっていた。

<市長>

魅力的で、若々しい感性のある話をしていただいた。市長になって5年経つが、この間、溝辺から池田まで1時間で行けるようスカイラインを何とかしてもらいたいと、県・国へお願いをしている。県としては国と一緒に、九州縦貫道の延長、いわゆるスカイラインの整備をするために、来年度で終わる予定であったスカイラインの有料期間を長くした。改良の一つが料金所のETC化で、40億円位かかるはずである。そのほか、錦江高原ホテルの付近は曲がりくねっているので橋をつくるなど、高速道路の延長として走行できるようにしたい。この二つを、県及び九州地方整備局と計画をしている。それが、第一義的なスカイラインの改良である。その次に、ご意見のようにすばらしい観光道路になると思う。それが可能かどうか。そして、海外からの客を含めて、色々な方々が指宿にどのような期待をするのか調べた上で、素晴らしい企画の実現性について考えたい。そこが、観光スポットとして売ることができるか見に行き、このような展望所ができる等、その可能性について調べたい。

【市民】

国民宿舎跡地利用についての経過や計画は、どのようになっているのか。

<市長>

公募をかけたところ3社の応募があり、県外からも1社あった。開聞地域の方々が帰省したときに同窓会ができたり、宴会ができたり、安く泊まることができたりする施設を造ってもらいたいというのが、市町村合併のときの一つの話であった。しかし、宴会場を造るとなると、年間60回から70回の宴会を行うことができなければ、とても経営ができないという理由で、市内の1社は手を引いた。また、部屋の稼働率が6割から7割はないと、職員を雇うのは難しいとのことであった。

それでも手を挙げるところはあったが、人口や観光客が減少する分、海外からのお客を入れないと、これからホテルはもたないということで、海外からのお客向けの高級ホテルにするという計画であった。そうすると、開聞を含めた近辺の方々が気軽に泊まれる施設という最初の目的に合わなかった。あとの2社は、資金を含めた今後の経営計画を見て、安定した経営が見通せるのかという意見が委員の中から出た。選定に私は関わっておらず、外部の審査会の意見を尊重して、今回は3社とも選定しなかった。改めて、考えさせてもらいたい。

あと一つは、国民宿舎は開聞一周道路や開聞岳の登山客と密接な関係がある。一周道路がどうなっていくのか。そうしたときに、跡地をどのように利用することができるのか。川尻地区が、できたことによりどう変わっていくのか。川尻地区から開聞地区や一周道路への道路を、どのようにするのか。様々な観点から県と岩崎産業を含めて協議をしており、議会へは全員協議会等で話し、ご理解をいただいている。

利用形態については、少しこれまでとは違った形になるかもしれないが、国民宿舎跡地の活用については早く決めなければならないだろう。

【市民】

開聞小学校周辺には、旧開聞町時代の給食センター、改善センター、そして旧開聞中学校の体育

館がある。中でも改善センターは老朽化しており、外壁のタイルが落ちている。立ち入らないように柵をしてあるが、子供たちの遊ぶ場所であり、また、改善センターの駐車場は現在でも利用されている。今後、これらの施設はどのような方向性でいくのか。耐震的に問題なければ、体育館は室内練習場やゲートボール場として再活用することはできないのか。改善センターについては、外壁補修を行うか、解体ではないだろうか。

<市長>

旧開聞中学校の跡は、2020年かごしま国体の女子ソフトボールの練習場になると思う。使われないうまま放っておくわけにはいかない。

<総務部長>

市内の公共施設をどうするのか、今年から来年にかけて「公共施設管理計画」を作っている。この計画に基づいて計画的に管理・改善し、また取り壊す場合にも合併特例債を活用できる。今後、公共施設のあり方をどうしていくのか議論をする中で、解体・改善をしていくことになると思う。

旧開聞中学校の体育館については、非常に年数も古く耐震性もない。また、雨漏りもひどく、現在のところ取壊しの方向で検討している。できるだけ、使えるものについては修繕し、使わないものについては整理していくことになると思う。

<市長>

公共施設が古くなり、その改修に多額のお金が必要になった。そのために、5年間努力をして財政調整基金等を積んで、平成21年度に5億位しかなかったのを、年間予算の1割の確保に努めた。この前の長雨や台風で、2億円の費用がかかった。もし、冬にインフルエンザが大流行すれば、医療費が1億円必要である。事業をうつための基金は、確実につくってきた。

体育施設や公共施設に、これまで余り手を入れてこなかった。ところが、現在は3.11の地震以降、耐震化等の法律を国が制定したため対応しなければならなくなった。学校は子供たちの命に関わるので、体育館を含め全て実施した。また、運動場の砂を入れ替えて、子供たちに事故がないようにした。

目に見えないところに、多額の費用をかけてきた。開聞中学校の歩道や駐車場の整備をはじめ、各学校の図書館や先生方の部屋にもクーラーを付けるなど、子供たちを育てる環境づくりには一番力を入れてきたつもりである。私は学校の教員だったこともあり、子供たちには本当に頑張って勉強をしてもらいたい。そして、故郷を好きになってもらいたいということでやってきた。

色々な意見に対応できるよう、財政的な体力をもっておかなければならない。唐船峡のこと、国民宿舎のこと、開聞一周道路のこと等を総合的に考えながら、開聞ではどのような優先順位とするのか色々な意見を出していただき、皆さんと一緒に解決していきたい。

【市民】

現在、レジャーセンターのプールは使用できない状態で、改修の見積りをとっているとのことである。今後の予定は、どのようになっているのか。開聞地域の方々にとって、レジャーセンターのプールと温泉は、健康増進のために非常に役立っている。プールも含めて、存続させて欲しい。

<市長>

建物については色々な問題があり、開聞総合体育館でも雨漏りをしている。レジャーセンターのプールを含めて、今日、協議をしたばかりである。

<産業振興部長>

今年8月の台風で屋根の一部がめくれたため、現在の建物で今後の運営ができるか、当時の設計業者並びに施工業者と現地確認を行った。屋根のめくれた部分を補修すれば今後も使えるというのではなく、多額の修理代がかかることがわかった。川尻地区住民にとって大切なこの施設を、どのように取り扱っていくのか検討していきたい。

<市長>

数千万円、もしかすると億近い費用がかかりそうであり、施設の状態について色々と調査してもらおう。災害ということで屋根の部分補修をする方法もあるが、また来年、同じような台風が来たらやられる心配がある。いくつかの方法を業者が見積もっており、今後どのようにしたら良いのか結論を出して、議員にも方向性を示し、行政と皆さんと一緒に考える必要があると思う。温泉は、川

尻地区・開聞地区にとって非常に貴重な場でもある。皆さんの意見を聞きながら検討していきたい。

【市民】

現在、ふれあい交流館のアリーナでは、雨漏りがしている。改修の予定は、どのようになっているのか。

<教育長>

開聞総合体育館では雨漏りの修繕工事が始まっており、来年の3月10日頃には完了予定である。交流館の雨漏り等については、今後の計画等を確認してからお知らせしたい。

【市民】

災害により非常にお金がかかるとのことだが、保険制度を導入することはできないのか。

<市長>

小さな土手が崩れるなど、たくさんの被害があった。間髪入れずに対処しなければならないものは、予算がなかったため専決処分をしたものも多くあった。今年の長雨は大変なものであり、多額の出費が必要となった。保険に入っているものもある。

<産業振興部長>

レジャーセンターは、建物の災害保険に入っている。風水害による屋根のめくれは、50%の補助が出るということで、保険会社と管理会社には連絡した。

ただし、修理については保険が適用できるが、修理だけでレジャーセンターの施設が今後も大丈夫なのか全体的な調査を行った。

【市民】

開聞の図書館を、児童が使用できるようにしてもらいたい。子供の教育は非常に大事だと思うので、チャンスを与えてほしい。

<市長>

開聞地区の子供たち・町民が利用できる図書館についても、行政の中で話題になっている。開聞の庁舎の前や、土地改良区の所にできないか色々を見て回った。引き続き、検討していきたい。

【市民】

開聞太鼓保存会は改善センターで練習をしているが、騒音の関係でできなくなると聞いた。今後は、草スキー場の管理棟で練習をすると聞いているが、狭くて真っ暗な道を通っていかなければならない。このサブアリーナで、練習をさせることはできないのか。

<開聞支所長>

開聞太鼓は改善センターで練習していたが、周辺住民から音に対する苦情が出された。そこで協議を重ねた結果、ふれあい公園のスキー場の管理棟で練習をすることになった。夕方からの練習になるので、実際に太鼓を叩いてもらい、薩摩富士荘や周辺住民等、色々な方々にどこまで音が聞こえるかを含めて調査を行い、管理棟なら大丈夫だろうということになった。

管理棟は遠いが、車で連れて行き、施設到着後のトイレ等についても一緒に行動しようと始めたばかりである。私も、保存会の副会長をしており、市には色々なお願いをして借りている。不都合があれば市に要望をし、使い勝手が良い施設になればと思っている。登山客の方々にも、見苦しくないように運営させてもらいたい。

<市長>

太鼓の団体は、地域のイベント等で本当に活躍している。地域住民に迷惑をかけず、太鼓の方々にも頑張ってもらえるような練習場所の確保が必要だと思う。しばらく見守っていただき、ご意見をいただければと思う。

【市民】

開聞から池田湖沿いの坂を下りると、すぐ右手に、鯉を飼っていたいけす等の跡がある。雄大な自然の所に、目障りな気がする。撤去してもらおうことはできないのか。田中さんという方がしてい

たと思うので、調べた上で検討してもらいたい。

<産業振興部長>

県の内水面の占有許可は、5年に1度更新するようになっていたと思う。20年近く養鯉業は行っておらず、経営の実態がなければ公有水面の許可を出すことはできないと思う。そのため、現在では、不法な占有になっている可能性もある。内水面の問題や、池田湖の公有水面の管理ということも含め、どのような対応ができるか県に相談したい。

<市長>

確かに見苦しいと思う。調べて取り壊すことができるようであれば、田中さんに今の意見等を伝えて何らかの対応をしなければならぬと思う。あのまま、放置するわけにはいかない。

【市民】

現在、スポーツクラブのパークゴルフとグラウンドゴルフに加入している。パークゴルフは、吹越のカンタ公園が使えないため、ふれあい公園のキャンプ場に穴を開けてしているが、夏になるとキャンプが入り利用できず、料金的な問題もあるようだ。グラウンドゴルフも、開闢地域には専用コースがない。ふれあい公園にはパターゴルフ場はあるが、パークゴルフ場やグラウンドゴルフ場を総合的に造れば、ふれあい公園の活用にもなるのではないだろうか。

<市長>

会長の上菌さんから、川辺に良いコースがあるが知っているかと手紙をいただいた。健康づくりや生きがいづくりのための生涯スポーツに、どれだけ役立つか見てもらいたいというものであった。日程調整ができれば、ぜひ見に行ってみてほしい。パークゴルフ場を含めて、総合的なニュースポーツ、生涯スポーツについて、開闢ではこのようなスポーツが必要で、この場所ならこのようなことができるといった意見を聞かせてもらいたい。